



川と川  
環境共生都市  
熊谷

熊谷市総合振興計画

KUMAGAYA



# 川と川 環境共生都市 熊谷

熊谷市総合振興計画





熊谷市長

富田 清

熊谷市は、二度の合併を経て、県北初の、人口20万都市となりました。

このたび、合併後の市民の融和を図り、新市の均衡ある発展と速やかな一体性を確立するとともに、特例市への移行など、今後、一層激しさを増す都市間競争に打ち勝つための戦略を明らかにするために、第1次総合振興計画を策定しました。

この計画の策定にあたっては、多くの市民の皆様の参画をいただき、たくさんの知恵と夢が詰まった計画となりました。

今日の社会は、少子高齢社会の進行や環境問題など様々な課題が山積しており、本市がこうした課題に的確に対応するためには、基礎的自治体として主体的な役割を担うことが求められています。

昨年、市政運営の基本方針や、市民と協働でまちづくりを進めるためのルールを「自治基本条例」として明文化いたしましたので、その条例も上手に使いながら「総合振興計画」の施策を着実に推進し、市民一人ひとりが豊かな環境の中で誇りと希望を持って生き生きと生活している「環境共生都市 熊谷」実現のために、全力をあげて取り組みます。

これからも、熊谷市の飛躍のために一層のご支援、ご協力をお願いします。

## 市章



この紋章は、熊谷の名を円形に図案化したもので、上部右が「ク」を、同左が「マ」を、全体で「谷」を表わしています。

大正8年(1919年)に、熊谷町の紋章として、一般に懸賞募集し、同11年7月から使用されたものです。

昭和8年(1933年)4月1日の市制施行後、市の紋章として引き継がれ、平成17年(2005年)10月1日の合併による新「熊谷市」においても引き継がれました。

## 市のシンボルマーク・市の花・市の木・市の鳥

平成17年(2005年)10月1日に熊谷市、大里町、妻沼町が合併し、新「熊谷市」が誕生したことを記念して、公募により平成18年(2006年)4月22日に制定されたものです。

平成19年(2007年)2月13日に熊谷市に江南町が合併し、20万都市が誕生したことを記念し、シンボルマークにサクラ色・ケヤキ色・ヒバリ色を新たに加えました。



サクラ色



ケヤキ色



ヒバリ色

熊谷市(「くま」の2文字)が、限りない未来に向かって、大きく飛躍している様子をデザイン化したものです。

「青色」は、快晴日数日本一の熊谷市の青空と、自然豊かな荒川・利根川の流れを表し、「オレンジ色」は、熊谷の暑さと、市民の情熱を表しています。



### 市の花 サクラ

荒川堤は古くから桜の名所として親しまれ、平成2年(1990年)には「さくら名所100選」に選ばれました。

開花の時期には、市内各所で桜を楽しめます。

熊谷さくらマラソンやさくら祭などの行事も行われ、市民に広く親しまれています。



### 市の木 ケヤキ

ケヤキは大空に伸びる雄大さやたくましさを感じ、一年を通して、新緑や紅葉など、目を和ませます。

市役所通りやスポーツ文化公園、妻沼聖天山を始め、公園や学校など、市内各所で見られ、多くの方に親しまれています。



### 市の鳥 ヒバリ

荒川や利根川の河川敷を始め、市内の農耕地に数多く生息しています。春の訪れを感じさせる美しいさえずりにより、多くの市民に親しまれています。

## 熊谷市民憲章

わたくしたち熊谷市民は、荒川、利根川を中心とした豊かな自然、歴史と伝統にはぐくまれた郷土に誇りと責任を持ち、明るく豊かなよりよいまちをつくるため、ここに市民憲章を定めます。

すこやかな心と体をつくりましょう

教養を身につけましょう

しあわせな家庭をつくりましょう







きまりを守り親切にしましょう

豊かできれいなまちをつくりましょう

## 市歌

### 熊谷市歌

熊谷市教育研究会 作詞・作曲

<p>1 豊かな流れが みどりの大地に 心の翼 未来に向けて 熊谷 熊谷</p>	<p>はぐくんだ 風光る 羽ばたかせ 飛び立とう わたしと伸びるまち</p>	<p><math>\text{♩} = 76</math> <i>mf</i></p>  <p>ゆ た か な な が れ が は</p>  <p>ぐ く だ ー み ど り の だ い ち に か</p>
<p>2 歴史に残る 夢見た思いは うけつぐ心 明日への希望 熊谷 熊谷</p>	<p>人々の いまここに たくましく 胸に抱き わたしを磨くまち</p>	 <p>ぜ ひ か る ー こ こ ろ の つ ば さ</p>  <p>は ば た か せ み ら い に む け て</p>  <p>と び た と う く ま が や く ま が や</p>  <p>わ た し と の び る ま ち</p>
<p>3 桜にころも 祭りの太鼓に 実りの秋に けやきの枝に 熊谷 熊谷</p>	<p>はずませて 勇み立ち 笑顔満ち 風わたる わたしが誇るまち</p>	

# 目次

序	7
1 計画策定の趣旨	8
2 計画の構成及び期間	9
3 熊谷市をとりまく社会動向	10
4 熊谷市の姿	13
5 策定手順	16
基本構想	17
第1章 目的	18
第2章 目標年度	18
第3章 将来都市像	18
1 将来都市像	18
2 将来人口	19
3 土地利用構想	20
4 総合交通体系	25
第4章 施策の大綱	28
基本計画	33
第1章 魅力ある郷土をほこれるまち	34
施策 1 全国に発信できる特色をつくる	34
施策 2 歴史再発見のまちを推進する	36
第2章 市民と行政が協働するまち	38
施策 3 市民活動を育成・支援する	38
施策 4 人権尊重のまちをつくる	40
施策 5 国際交流・国際理解を推進する	42
施策 6 男女共同参画社会を確立する	44
施策 7 平和なまちをつくる	46
第3章 みんなで創る安全なまち	48
施策 8 犯罪の起こらない環境を整備する	48
施策 9 災害に強いまちをつくる	50
施策 10 交通事故の減少・防止を図る	54
施策 11 消費者被害を防止する	56
施策 12 消防力を強化する	58

<b>第4章</b>	<b>だれもが安心して健康に暮らせるまち</b>	60
	<b>施策13</b> 高齢者が元気に暮らせる環境をつくる	60
	<b>施策14</b> 障害者が暮らしやすい環境をつくる	62
	<b>施策15</b> 楽しく子育てできる環境をつくる	64
	<b>施策16</b> 地域で支え合う心をはぐくむ	66
	<b>施策17</b> 市民の健康づくりを支援する	68
	<b>施策18</b> 医療体制を充実する	70
<b>第5章</b>	<b>自然の豊かさがあふれるまち</b>	72
	<b>施策19</b> 豊かな自然を保全する	72
	<b>施策20</b> 生活環境を保全する	74
	<b>施策21</b> ごみの発生を抑制し、再利用を促進する	76
	<b>施策22</b> 地球温暖化対策を推進する	78
<b>第6章</b>	<b>活力ある産業が育つまち</b>	80
	<b>施策23</b> 農業環境を整備する	80
	<b>施策24</b> 農業の担い手を育成する	82
	<b>施策25</b> 地産地消を進める	84
	<b>施策26</b> 商業を活性化する	86
	<b>施策27</b> 企業活力を高める	88
<b>第7章</b>	<b>便利で快適な人にやさしいまち</b>	90
	<b>施策28</b> 地域の特色を生かしたバランスの良いまちをつくる	90
	<b>施策29</b> 熊谷らしい景観をつくる	92
	<b>施策30</b> 人にやさしいユニバーサルデザインのまちをつくる	94
	<b>施策31</b> 便利に使える生活道路を整備する	96
	<b>施策32</b> 機能的な幹線道路を整備する	98
	<b>施策33</b> 公共交通を充実する	100
	<b>施策34</b> 人でにぎわう緑あふれる公園をつくる	102
	<b>施策35</b> 上下水道を整備する	104
	<b>施策36</b> 安心して暮らせる市営住宅を整備する	106
<b>第8章</b>	<b>地域に根ざした教育・文化のまち</b>	108
	<b>施策37</b> 学校・家庭・地域が連携して子どもを育てる	108
	<b>施策38</b> 確かな学力(知・徳・体)を身につけさせる	110
	<b>施策39</b> 安全で快適な学校づくりを進める	112
	<b>施策40</b> たくましく心豊かな子どもを育てる	114
	<b>施策41</b> 魅力ある生涯学習事業、施設を拡充・整備する	116
	<b>施策42</b> スポーツ・文化に熱中できる場をつくる	118
<b>第9章</b>	<b>効率的でわかりやすい行財政</b>	120
	<b>施策43</b> 健全な財政運営を行う	120
	<b>施策44</b> 開かれた市政を推進する	122
	<b>施策45</b> 既存の施設を有効に活用する	124
<b>第10章</b>	<b>リーディング・プロジェクト</b>	126
	<b>資料編</b>	131